

～ 先輩からの声 ～



今 西 光 弘

2017年入庁

秘書広報情報課広報担当

志望動機

出身地ではありませんが、幼少期より市内のスイミングスクールに約10年間通っていて、第2の故郷のような気持ちで愛着がありました。水泳を通じて、悔しい思いや嬉しい思いを沢山経験しました。また水泳の大会を通じて、様々な地域にも行くことができ、たくさんの思い出を作ることができました。そんな経験をさせてもらった市に恩返しをしたいと思い、宇陀市を志望しました。

担当業務

現在、「広報うだ」の作成業務などを行っています。毎月の広報うだ作成のため、市内各地を回り、写真撮影や取材に飛び回っています。

データ放送やメディアを通じて宇陀市を全国に発信しています。

やりがいについて

今の部署に異動して間もないですが、1つ1つの記事を作成し、1つの広報が完成したときにやりがいを感じます。写真1つや文章を広報に取り入れるにも、写真の明暗や、フォント・レイアウト等を工夫したり意外に苦労したりします。

市民の皆さんに次はどんな記事が掲載されるんだろうと楽しみに読んでもらえる広報紙を作れるよう、また素敵な写真を撮影できるように日々勉強中です。

市職員のイメージは

入庁前は、窓口・電話対応が主な仕事で、仕事や人も「お堅い」イメージがありました。入庁後は業務の多様さや、中には柔軟な対応が必要である業務がいっぱいで驚きました。

私は、当初介護保険に関する部署に配属されたのですが、イベントの準備、事業所との連携など業務内容は多岐に渡りました。

仕事の面では、確かに法律や条例上どうしても柔軟さに欠ける部分があるのですが、制度の中には市町村判断が求められる部分もあり、試行錯誤して自分で考えて、業務に取り組めることもあります。

人の面では、職場の上司や同僚は真面目だけでなく、優しく、楽しい人が多く「お堅い」イメージは、払拭されました。

受験者に向けて

受験にあたって、一般の就職活動時期や試験内容など少し異なる部分があり、ストレスや不安に感じることも、くじけそうになることもあるかと思っています。私も実際そうでした。

しかし、諦めずに最後まで真剣に取り組めば（たまには息抜きも必要です）、自分の力を十分に発揮できると思います。就職活動は大変だとは思いますが、皆さんと一緒に業務に携われる日を楽しみにしています。

就職活動を応援しています。